

NEWS

再生可能エネルギー固定価格買取制度に適應した 有機ランキンサイクル(ORC)発電システムを日本で提供

2012年10月17日、東京発:

プラット・アンド・ホイットニー・パワー・システムズ社(以下 PWPS 社)は本日、同社の有機ランキンサイクル(ORC)タービン発電機が、日本政府が推進している再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)の要件を満たす発電事業者には有益であると発表しました。PWPS の ORC タービン発電機を使用したバイオマス資源や地熱資源による発電事業に FIT が適用されるようになり、日本における再生可能エネルギーへの投資拡大が期待されます。

日本では、電気事業者に対して再生可能エネルギー発電による電気の買い取りを義務づける法律が制定されており、この固定価格買取制度は、PWPS の ORC タービン発電機のような新規発電設備への投資を促進することを目的としています。この法律は、脱原発を進め、化石燃料依存を軽減し、再生可能発電の拡大をめざす計画の一部となっています。

PWPS 社のピーター・クリストマン(Peter Christman)社長は次のように述べています。「固定価格買取制度は再生可能エネルギーの拡大に向けた日本の意欲を強く表わしています。当社の ORC 装置は日本の適格発電事業者に、従来型発電からの移行手段となる革新的で費用対効果の大きい発電装置を提供します。」

PWPS 社は日本の発電ニーズに応えた実績があります。2011年、東北地方太平洋沖地震と津波に伴う電力不足が発生した際、ベースロード電源とピーク対応電源を提供するために、APR エナジー社との協定を通じて PWPS 社の MOBILEPAC®および SWIFTPAC®ガスタービン発電機が設置されました。

PWPS 社は、日本市場における再生可能エネルギー発電の需要に応えるべく、日本での販売・サービス体制の拡充を進めています。詳細をお知りになるには、2012年12月5~7日に幕張メッセ(千葉)で開催予定の「第7回再生可能エネルギー世界展示会(Renewable Energy 2012 Exhibition)」の当社ブースにお越しになるか、Eメールで弊社にお問い合わせください(Eメールアドレス: gppworc@pw.utc.com)。

PWPS 社と子会社のターボデン(Turboden)社は、ORC方式のバイオマス発電と地熱発電で世界最高水準の技術を持ち、発電出力250kWから10MW以上までの幅広い再生可能エネルギー

ギー製品を提供しています。PWPS の ORC システムは、低中温度帯の熱資源を効率的で信頼性の高い電力に変換する閉回路熱力学プロセスを利用しています。このシステムは単純な蒸発過程によって駆動され、完全に密閉されており、排気ガスを出さず、自動運転が可能で、導入も簡単です。

PWPS 社の傘下にあるターボデン社はイタリア企業であり、ORC タービン発電機的设计・製造・保守で世界をリードしています。ターボデン社とプラット・アンド・ホイットニーは合計で世界 20 カ国以上、300 基以上にのぼる ORC 発電設備の販売実績を持ち、250kWel から 4MWel (標準品)、最大 10MWel (特注品) のタービン発電機を提供しています。ターボデン社について詳しくは www.turboden.com をご覧ください。

プラット・アンド・ホイットニーについて

プラット・アンド・ホイットニーは、世界をリードする複合企業で、ユナイテッド・テクノロジーズの傘下にあり、航空機用エンジン、宇宙推進システム、産業用ガスタービンのデザイン・製造・保守において世界をリードしています。ユナイテッド・テクノロジーズは、米国コネチカット州ハートフォードに本部を置き、世界の航空業や多種の製造業に最先端技術を提供しています。 www.pw.utc.com。

MOBILEPAC®と SWIFTPAC®はプラット・アンド・ホイットニーの登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

プラット・アンド・ホイットニー広報代理店 MSL: 担当 釜井
TEL: 03-5719-8901 090-6033-1953 / FAX: 03-5719-8919
E-mail: yasuo.kamai@msl-japan.com

###